大津町 架け橋期カリキュラム（令和７年度版）

大津町教育理念
夢を持ち　夢を育み　夢を叶える教育実践～生きる力を身につけ、よき社会の形成者として未来を拓く子どもの育成～

遊びを通した学びのプロセスで大切にしたいキーワード

出会う　関わる　力を合わせる　気付く　伝える　試す

①健康な心と体　②自立心　③協同性　④道徳性・規範意識の芽生え　⑤社会生活との関わり　⑥思考力の芽生え　⑦自然との関わり・生命尊重　⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚　⑨言葉による伝え合い　⑩豊かな感性と表現

	保育園・幼稚園・認定こども園等		小学校	
	前期（４月から１０月上旬まで）	後期（１０月中旬から３月まで）	前期（４月から１０月上旬まで）	後期（１０月中旬から３月まで）
めざす子どもの姿	**・年長として、意欲と自信をもって自分のできることをしようとしたり、友達と一緒に取り組んでいく楽しさを感じたりする。** **・遊びの中で気付いたり発見したりしたことを伝え合う。** **・友達同士で刺激し合い、思いを伝え合ってイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進める中でなかま意識を高める。** ・身近な自然物に関わり興味や関心を広げ、季節の移り変わりを感じながら、自然に親しんだり遊びに取り入れたりし、様々なことに気付いたり、驚いたり、不思議さを感じたり、それを伝えたりするようになる。	**・友達と共通の目的に向かい、友達と協力して、試したり工夫したりしながら遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。** **・遊びの中で数や量を比べたり、興味を持ったりする。** **・遊びや生活を自分たちでつくっていく中で、一人一人のよさが生かされている。**	**・幼児期の経験を生かしながら安心して自分を発揮し、先生や友達と一緒に取り組んでいる。** **・様々な人と関わり、感じたことや考えたことを伝えている。** **・身近な自然を観察したり、地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、そのすばらしさに気付き、親しみをもって関わろうとしている。**	**・互いの話に関心を持ち、相手の思いや考えを受けて話したり、聞いたりしている。** **・自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長に気付き、集団の一員としての存在や役割の自覚を持つ。** **・支えてくれている人々に感謝の気持ちをもち、自分の成長への期待をもって意欲的に生活しようとしている。**
生活や遊びを通した活動	興味・関心をもって自然物に親しむ 身近な虫、草花、野菜や花の栽培、生き物の世話 水・砂・泥などを使った遊び 色水、砂場、泥だんご 身体を使った遊び 外遊び、水遊び	秋の自然を取り入れた遊び 落ち葉、草花 昔遊び・正月遊び わらべうた 伝統的な遊び 楽器を使った遊び 踊り、表現遊び もうすぐ１ねんせい 卒園に向けて	どきどきわくわく１ねんせい はなをさかせよう（生活・国語・算数・図画工作） スタートカリキュラム がっこうだいすき（がっこうたんけん）（生活・国語・算数・図画工作・特別活動・道徳）	たのしいあきいっぱい（生活・国語・算数・図画工作・音楽・道徳） じぶんでできるよ（生活・国語・算数・道徳） いきものとなかよし（生活・国語・算数・道徳） ふゆをたのしもう（生活・国語・図画工作・体育） もうすぐ２年生（生活・国語・図画工作・音楽）
	五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）		国語・算数・生活・音楽・体育・図工・道徳・特別活動	
交流活動	年長児としての自覚を持ち、年齢が下の子どもたちと関わりながら遊ぶことができる。 小学校１年生の授業参観・情報交換会	入学への期待感を持ち、１年生と仲良く活動することができる。	１年生同士の交流や上級生と関わり、一緒に楽しく活動することができる。 園の保育参観・情報交換会	新しい１年生との交流会のために、内容を考えたり工夫したりし、リードしながら活動することができる。
指導上の留意事項	**・やっていこうとする姿や気持ちを認め励ます。** **・一人一人の楽しみ方**を受け止める。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさに**共感**していく。 ・自然物等の**気付きを一緒に楽しむ。** **・見通しをもって**取り組めるようにする。 **・発見や工夫**を伝えたり、一緒に調べたりする状況を作る。 ・何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認め、したいことを**じっくり楽しめる時間と空間を保障**する。 ・栽培･飼育等は、子どもと相談しながら決めていく。	・絵本コーナーを設け、**落ち着いてじっくり**と絵本に親しめる雰囲気づくりをする。 ・自分とは違う考えや気持ちに気付けるよう、**自分の思いを伝えたり、友だちの思いや願を聞いたりする場を設定**する。	・全教職員に活動の意図を伝え、学校全体の協力体制を作る。 ・手遊びをしたり、遊びのコーナーや自由に使える材料コーナーを作ったりする。 **・１５分程度の区切り**の流れを意識した学習活動を構成する。 **・一日の流れを掲示**して確認できるようにする。	・取り組んだことを**多様な方法で表現**できるようにする。 ・自分の成長は、周囲の人々に支えられていることや内面的な成長に気付き、２年生への願いや期待感などをもつことができるようにする。 ・一人一人の成長や取組の**過程を認め**ながら、友達の**成長への気付き**、学級 全体の成長を**喜び合えるように**、**児童のつぶやきや発言**を認めたり、広げたりする。 ・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。（国語科の「１年かんのおもいでブック」との関連）
家庭や地域との連携	・保護者に架け橋期のカリキュラムについて繰り返し周知する中で理解を図り、小学校入学に向けての準備へとつなぐ。 ・日常的に、活動の中で見られる子どもの気づきや学びの姿を伝えるとともに、そのよさや成長を共に実感する。		・保護者に架け橋期のカリキュラムについて繰り返し周知する中で理解を図り、教育活動において連携した取組になるようにする。 ・様々なツールを利用して学校の中で見られる子どもの成長や学びの姿を伝えるとともに、そのよさを共に実感する場を持つ（学級懇談会等）。	

一人一人の思いや願いが実現できるような関わりを大切にする

大津町育ちのステップの周知と活用

たのしいあき、いっぱい

	幼稚園・保育所等	小学校	中学校
具体的な遊び、学習活動	・どんぐりを使って（転がす、鳴らす、数える、おもちゃづくり、楽器づくりなど、どんぐり虫のこと） ・木の実や落ち葉で（おままごと、貼って表現等） ・落ち葉で（体験：踏む、集める、ちぎる等、制作：擦り出し、貼る、リース、しおり、ガーランドづくり等） ・散歩で秋を見付ける（どんぐり、松ぼっくり、落ち葉等） ・身近なもので集団制作（迷路）　・植物栽培 ・虫探し、飼育　・空の観察（雲の形） ・芋を使って（掘る、焼く、食べる、スタンプ等） ・泥団子づくり	・どんぐりを使って（お面や冠づくり、おもちゃづくり、楽器づくり等） ・木の実や落ち葉で工作（こま、けんだま、マラカス、迷路、魚釣り、やじろべえ等） ・落ち葉で（リースづくり、擦り出し等） ・秋探し（どんぐり、松ぼっくり、落ち葉、生き物、秋の雲等） ・虫探し　・芋ほり　・植物栽培 ・春夏、秋の比較…観察カードを書く ・おもちゃ屋さん遊び（他校：大津支援などと）	・大津町について調べよう（観光・物産等） ・情景描写（国語・美術・音楽を通して） ・俳句づくり（季語を使って） ・統計（データの整理） ・生物のつながり、植物の変化（理科） ・旬の食材を使った調理（家庭） ・生活単元学習（野菜等を育てる）
期待する子供の姿・目標	・自然物に興味・関心を持つ、調べる ・大きさ、重さ、色、香り、形、音、感触、強弱の違いに気づく ・数に関心を持つ（数える） ・季節の変化に気づく、理由を考える（言葉でも表現） ・生き物とのふれあいの中で命を感じ大事にしようとする ・考えたこと想像したことを表現する。（発想・想像・表現） ・地域の人との交流（社会性）　・交通ルールの順守 ・表現する楽しさを感じる（解放感・工夫） ・力を合わせて表現する　・食べ物や生産者への感謝 ・気づいたことを伝える（共感）、会話する	・自然や生き物に興味関心を持ち、特徴を見付けたり、粘り強く、積極的に関わる ・変化から新しい気づきをする（色、様子、感触、季節ごとの違い、感情との関連等） ・友達と協力して楽しむ、試す、伝える、説明・共感、関わる ・生き物や自然を大切にする　・食べ物へ感謝する ・自然物を使って制作する楽しさや面白さに気づく ・遊びや工作を楽しみ、工夫する（様々な要素の組合せ） ・幼児期や日常の経験との関連づけ、観察する、調べる、比べる	・身の回りの環境に関心を持ち主体的に追究する姿 ・時期や環境等様々な条件を考えながら子ども自身で計画する ・様々な表現を理解し共感する姿 ・変化や協力の大切さに気付く ・自ら発見したことを工夫して伝え、交流する姿
そのための手立て	・下見を踏まえたさりげない支援 ・変化に気づくような声かけ（問いかけ・確認） ・じっくり取り組める時間の確保 ・子どもの思いを大事にしたモノや場所の準備や工夫 ・子ども視点での認め励まし ・子どもの思いや気持ちを引き出す、共感する ・一人一人の表現の仕方を大切にする ・保育者も共に遊ぶ ・地域の方とのコミュニケーションを率先して行う ・伝え合う場の設定（子ども同士をつなぐ関わりも） ・困っている子への支援 ・ルールや危険なことの共有	・事前に子どもの実態の把握 ・今までの経験から考えたことや思いついたことを話し合う時間の設定（子どもの気づきから活動へ） ・子どもが発見できるような投げかけ ・子どもが様々な工夫をしたくなるような材料（種類・量）、時間設定、形態（個やグループ）の工夫や場所の把握などの準備　・安全確保 ・見通し、考える視点を提示する ・社会性（ルールやマナー）の育成 ・相手意識を持たせた活動になるような単元構想 ・ICTやプレゼンテーションの活用（子どもたちも） ・振り返り（できたこと、これからしたいこと）	・単元を通して学びのゴールを明らかにする。 ・発表の場の設定と工夫 ・生活とのつながりを意識させる ・長期的な視点でとらえ、単元構想を行う ・声かけの工夫